

フルートで古賀敦子さん2位入賞

西本

「思いきり吹けました」

福岡市出身 ヨーロッパ留学中

福岡市南区并尻出身の古賀敦子さん(三巴が、このほどスペイン・バルセロナで行われた第四十回マリア・カナルス国際音楽コンクールのフルート部門で二位に入賞した。古賀さんは、自宅への手紙で「伸び伸びと思いきり吹くことができ、

これからの自信がつきました」と喜んでいいる。古賀さんは福岡教育大付属中学から桐朋女子高音楽科に進み、フルートを専攻した。卒業後フランスに渡り、パリ音楽院で学び、大学院も修了した。一九九〇年にはイタリアのカプリ島

のインソラ・ディ・カプリ国際音楽コンクール(イタリア)管楽器部門で第二位に入賞している。古賀さんは現在、パリ音楽院で音楽学を学びながら、ドイツのケルン音楽大でフルートのレッスンを受けており、オーケストラの奏者かソリストを目指すと

フルートの二部門からなり、日本人もピアノ七十四人、フルート十九人が出場。古賀さんは一次、二次予選を通過。本選では、モーツァルトの協奏曲をピアノ伴奏で吹いて、ロシアの奏者に次いで、見事に入賞した。日本人では、ピアノ部門で竹村浄子さん(東京都出身)が三位だった。

堂で行われた。ピアノとフ



フルート部門で2位に入賞した古賀敦子さん